

剥落マモリータ

1. はじめに

剥落マモリータは二液主剤型のアクリル系接着樹脂のスプレーです。スプレー缶の内部で二液を混合し、そのままご使用することが可能で、他に道具や器具を準備しなくても本製品があれば施工可能です。コンクリート構造物の検査・点検時の応急対策にご使用いただけます。

2. 特長

①低温硬化性

硬化性に優れ、特に低温硬化において -5°C でも硬化する為、冬季施工が可能です。

②簡易施工性

スプレー缶の内部で二液を混合する構造なので、そのまま吹付施工が可能。従来、道具や器具の持ち運び・施工に要した時間が不要でありコストパフォーマンスに優れています。

③含浸性・付着力

低粘度でマイクロクラックに対する含浸性に優れており、コンクリートに対し高い付着力を有しています。

④保存性

二重缶を採用しているため保存性に優れ、使用前に硬化することなくお使いいただけます。

⑤耐候性

恒久対策実施までの応急補修材として十分な耐候性を有しています。

3. 製品概要

主成分	変性アクリル樹脂
形式	エアゾール
タイプ	二液型
内容量	145 ml



※10本入／1箱

4. 製品適用場所

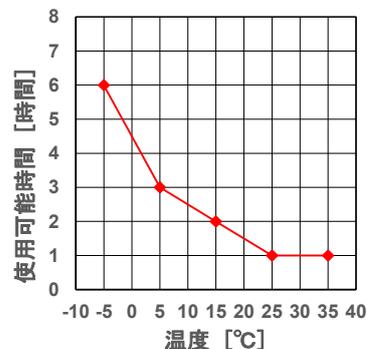
●トンネル、橋梁の点検時における剥落部叩き落とし後の簡易補修、豆板の応急処置、微細クラックの吹付含浸、表面被覆、簡易的な防錆処置

※亜硝酸リチウムを添加した断面修復材等を用いた部位に、本材料を適用しないでください。

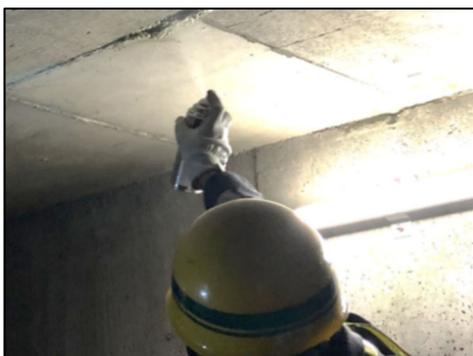
塗膜の剥がれや膨れが生じる恐れがあります。

5. 製品性能と使用可能時間

評価項目		測定例
付着強度	初期	3.2 N/mm ² (母材破壊)
	メタルライト ランプ : 438 時間 負荷後 (促進試験 5 年相当)	3.6 N/mm ² (母材破壊)
貯蔵安定性 (45°C × 90 日 負荷後)		塗膜に異常無し
せん断接着強さ (鋼)		19 N/mm ²
噴射継続時間		2 分/本
施工可能面積		0.5 m ² /缶



6. 施工状況



天井面塗布状況



側面塗布状況

7. 取り扱い方法

- 圧力により缶が破裂する恐れがあるため、40°C以上の高温環境に置かないでください。
- 缶底のネジキャップを外してください。
- 外したネジキャップを逆さまにして缶底にはめ、時計回りにネジが止まるまで回してください。回し忘れた状態でスプレーすると硬化しません。
- 静置後、缶を30秒ほど良く振り、内部で良く混ぜてください。
- 吹き付ける時は、塗布面と噴射口との間は20~40cmの間隔をとって平行に移動させながら塗布して下さい。
- 使用可能時間を越えた使用は施工不良の原因となるため避けてください。
- スプレー中は内容物が霧状に拡がるため、吸入したり目に入らないように注意してください。
- 低温時、塗布箇所には泡を噛む場合は常温に保温しておいた缶を使用してください。
- 塗布後の表面が緑色になったら施工完了です。
- 使用後はノズルの穴詰まりを防ぐため、逆さにして2秒くらいボタンを押し、ガスを通してからキャップをして下さい。

*** 缶底のネジを回した時点から主剤と硬化剤の反応が始まりますので、速やかに使い切して下さい。硬化が促進すると気泡やブツが生じるため、吹きつけ出来る状態であっても正常な塗膜を形成しない場合がありますのでご注意下さい。**

8. 廃棄方法

- 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託してください。

警告

- ハードロックIIは消防法の危険物に相当しますので作業場は火気厳禁としてください。
- 一度に多量の接着剤を硬化させると激しい発熱が生じますので注意してください。
- 皮膚や衣服に付着するとかぶれる恐れがありますので早めに石鹸で洗ってください。万一かぶれた場合は医師の手当てを受けてください。
- 作業場所は換気を良くし、保護眼鏡、保護手袋、必要に応じて有機ガス用マスク等の保護具を着用してください。
- 目に入れたり、飲んだり絶対にしていただき、誤って目に入った場合、15分以上流水で洗浄し、医師の手当てを受けてください。また、誤飲した場合、吐かせて医師の手当てを受けてください。
- 湿気や金属との接触を避け、密栓の上冷暗所に保存してください。
- 廃棄する場合は、A/B剤を少量ずつ混合し硬化させてから捨ててください。また混合し、硬化した(硬化中)の樹脂は廃棄するまで水の中に浸漬させてください。
- 接着剤が付着した可燃物(ウエス、段ボール、養生シート等)、注入用器具も廃棄するまで水に浸漬させて下さい。
- 本製品の硬化物をディスクサンダー等で研磨した場合、研磨した粉末を集めたまま放置すると自然発火するおそれがあります。積もった研磨粉は、掃除機は使用せず、ほうき等で集めた上、廃棄するまで十分な水に浸けておき、早めに専門の廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。

自然発火の注意

- ディスクサンダー等による研磨粉は掃除機は使用せずほうき等で集めて十分な水に漬けて廃棄してください。
- 樹脂の付着したウエス、ダンボール、ローラー、刷毛等は十分な水に浸漬させて廃棄して下さい。
- 硬化時に発熱を伴います。

◇データ等記載内容についてのご注意◇

- 本書記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づいたもので、その記載内容についていかなる保障をなすものではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前に試験を行い、使用目的に適合するかどうかおよび安全性について貴社の責任においてご確認ください。
- 本書記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
- ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・安全データシートで確認してください。これらの資料は、弊社の営業担当部門で用意しておりますので、お申しつけください。
- 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。

製品に関するお問い合わせ：デンカ株式会社 特殊混和材部

〒103-8338 東京都中央区日本橋室町2-1-1 TEL03-5290-5363 FAX03-5290-5085

販売に関するお問い合わせ：YKアクロス株式会社 建材土木・無機材料部門 特殊混和材部

〒105-8568 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館

TEL03-5450-6234 FAX03-2093-8367